

令和4年度 第10回常任理事会 議事録

日 時 令和5年3月11日（土）10:00～
場 所 北海きたえーる研修室
出席者 印藤智一、丸山道博、田中昌幸、齊藤幸治、
石崎 賢、奥山 諭、笹森恭之、川崎尚子、
浅野泰弘、多田吉宏、藤原 正
（事務局）坂本雅春（議事録）

<進行：藤原常任理事>

1 開 会

議事録署名人に印藤理事長のほか、田中副理事長、藤原常任理事を指名。

2 理事長あいさつ

本日は、第4回理事会に向けた確認を含め、多くの議題について審議いただく。忌憚のない意見交換をお願いします。

3 協議事項

各担当者から、以下のとおり説明がなされ承認された。

(1) 令和4年度 第4回理事会の開催について

①令和5年度 協会運営の基本方針（案）について（印藤理事長）

協会創立100周年に向け、さらなる発展の礎を築くため、強固な財政基盤と組織改革の検討をはじめとした重点目標等を理事会に提案する。

②令和5年度 事業計画（案）について

・総務委員会（齊藤総務委員長）

改選期に伴う役員等検討委員会や法人設立に向けた準備会議のほか、各種会議の開催を計画する。

Vリーグや法人化に係る業務担当者を配置して集中的に業務推進を図るとともに、道協会スポーツドクターと連携し選手の怪我防止や治療サポート等を行うメディカルユニットの構築を検討する旨理事会に説明する。

・競技委員会（石崎競技委員長）

準備を重ねてきたインターハイが8月1日から釧路市・釧路町で、8月7日から旭川市で開催されるほか、道協会主催大会の輪番制について再検討する。

・審判委員会（川崎総務委員長）

4月1日に全道審判委員長会議を、4月2日には伝達講習会を北翔大学で開催する。

8月のインターハイには多くの道内審判員に参加いただく。また、全国ラインジャッジ講習会の開催案内を行う旨理事会で説明する。

・強化委員会（奥山強化委員長）

中学は例年どおりJOCを中心に、高校は国体選抜強化を計画している。

国体少年強化対策事業として道外チームとの強化合宿を実施するため160万円の基金活用について理事会に提案する。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

中学ジュニアキャンプ50周年に合わせハンドブックを改定する。

芦別・富良野で開催している中学生の各大会は、物価・ホテル代の高騰により負担が大きくなっており、令和6年度に向けて検討を行う。

道公認コーチ講習会は、各地区協会の協力を得て開催しているが、次年度も積極的に開催いただくよう理事会で説明する。

③高校選手権大会参加料の値上げについて（石崎競技委員長）

大会経費は大会参加料で賄うことを基本とし、他の高校の大会と同額とすべく、20,000円に増額することを理事会に再提案する。

④令和5年度 一般会計・特別会計予算について（齊藤総務委員長）

高校選手権大会参加料の増額提案の結果に応じた予算案を理事会に提案する。

収入の部の繰越金は、今年度の決算を見込んだほか、大学・高専・中体連・ヤング連・小連の賦課金やVリーグチームとの業務委託料を見込み計上する。

一方、支出の部では、事業費に正副理事長による査定を経て、各委員会事業費を計上したほか、Vリーグ開催地交付金、公認会計士等への委託料、収益に伴う各種税金等を見込み収支同額の2,050万円を計上する。

特別会計予算では、第2回理事会で承認を得たとおり、財政調整基金と特別事業等基金を強化育成基金に移行したうえで、強化・育成基金の収入に前年度繰越見込み計上する。

一方、支出には、3期1年目の国体少年強化対策事業として160万円を計上する。

⑤令和5年度 定時・臨時評議員会の開催日程等について（齊藤総務委員長）

定時評議員会は、令和5年5月13日（土）15時から、きたえーる研修室で開催し、令和4年度事業報告及び各会計決算認定等について協議する。

臨時評議員会は、同日16時30分から同所で開催し、評議員会議長の互選等として理事会に提案する。

⑥法人設立基本方針(案)について

協会法人化について、次年度以降、具体的な議論に移行するため、法人形態を一般社団法人の非営利型とすることや組織体制、法人設立スケジュール等を定めた法人設立基本方針を理事会に提案する。

⑦役員等選考委員会委員の選任について（齊藤総務委員長）

次期役員改選に向けた役員選考委員会委員の選任について理事会に提案する。

前回の常任理事会で常任理事代表は副理事長とし、副理事長の協議において丸山副理事長を選任した。副会長代表には渋谷副会長、理事長には印藤理事長、評議員代表には小川評議員議長、監事代表には須田監事として理事会に提案する。

⑧北海道バレーボール協会規約の一部改正について（齊藤総務委員長）

協会創立100周年を見据えた基金管理のより一層の適正化と法人化や中学校部活動の地域移行等の諸課題に集中的に対応する役員の体制強化を図るため、第6条、第24条及び第25条を改正し、施行期日を定時評議員会の開催日である令和5年5月13日として評議員会に提案する旨、理事会に提案する。

⑨北海道バレーボール協会財政調整基金規程の一部改正について（齊藤総務委員長）

財政調整基金に特別事業等基金を統合することで、法人化を見据えた基金管理の適正化を図るため、第2条及び第4条を改正し、施行期日を令和5年3月11日として定めるほか、平成23年3月10日制定の北海道バレーボール協会特別事業等基金規程を廃止する旨、理事会に提案する。

⑩北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規程の一部改正について
（齊藤総務委員長）

倫理規程の処分内容のうち、競技者に対する競技会等への出場及び参加資格と役員に対する役員資格に係る無期限処分の取扱いの明確化を図るため、第4条第4項を改正し、施行期日を令和5年3月11日として定める旨、理事会に提案する。

⑪倫理規程違反の処分解除について（齊藤総務委員長）

第3回理事会において承認が見送られた、倫理規定違反の処分解除について、令和5年1月18日に開催した倫理委員会で協議したことから、その経過と結果を理事会に報告する。

倫理委員会からは、道協会が暴力の根絶を掲げる中、2度目の暴力で無期限処分となった者を復活させるのは抵抗感が強いなどの意見があり、今後、日本バレーボール協会が、大会参加の復帰規程を策定するのであれば、それを待って、その規程に準拠して、更生プログラムを整備したうえで処分解除を検討することが決定された。

これを受け、道協会としても、倫理委員会の協議結果に基づき、日本バレーボール協会から無期限処分に対する解除の状況を確認したうえで、必要に応じて復帰規程の整備を検討することが報告された。

4 報告事項

（1）日協関係（印藤理事長）

2月22日にブロック理事長会議が開催され、今後、全国大会の開催については、ブロック単位で調整することが報告された。

特に9人制の全国大会開催にあたり、北海道として、大会開催の受入のあり方を検討する必要があるとあり、丸山副理事長を中心に検討していく。

都道府県協会の法人化に向けた設立経費の支援を行うため、MRSシステムの見直しが検討されている。

道外強豪校顧問の逮捕事件など、依然としてバレー界の体罰が無くならない中、「暴力撤廃アクション」の取組みを進めるので協力願うとの報告がなされた。

（2）各委員会関係

- ・総務委員会（総務委員長）

公認会計士との委託契約期間が令和5年3月31日で満了することから、新年度契約の準備を行う。

令和4年度監査を4月15日（土）の10時から、きたえーる研修室で開催するので、各委員会主事等の出席について配慮願う。

次回、令和5年度第1回常任理事会は、4月15日（土）の10時から、きたえーる研修室で開催する。

・競技委員会（石崎競技委員長）

岩見沢市・美唄市で開催した高校新人大会は、開催地協会の協力のもと収支均衡で開催できた。

高校新人大会の輪番制については、安心安全な大会運営のため、開催地、時期、参加チーム数の見直しを含め再検討する。

・審判委員会（川崎審判委員長）

2月22日に全国審判委員長会議が開催され、大きなルール改正がないことが報告された。

ネーションズリーグ男女大会（韓国・アメリカ）に、村中氏と明井氏が参加する。

（意見）

審判員の活動状況は、理事会で報告すべきではないか。

⇒口頭で理事会報告する（川崎審判委員長）

・強化委員会（奥山強化委員長）

いちご一会栃木国体及びJOCジュニアオリンピックカップの大会結果報告書を作成したので確認願う。

国体成年・少年の課題については、今後改革案を示すなど全体に投げかけていきたい。

（意見）

課題解決に向け、様々な意見を集約し改革にチャレンジして欲しい。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

中学指導者の暴言について、今後繰り返さないための指導と学校側との連携を進める。今後も様々な機会を通じて暴力・暴言根絶に向けた周知に努める。

（意見）

全国指導普及委員長会議においても、JVA川合会長から、暴力・暴言根絶の取組みを進めるとの説明があった。道協会としても暴力・暴言の根絶に向け、様々な機会を通して取組みを進めていく。

JVA公認講師の候補名簿を整理したので、コーチ3以上の取得者から候補者を検討する。

5 閉 会


【次回：令和5年4月15日（土）10時00分～ きたえーる研修室】

議事録署名人

理事長

伊藤 智一

議事録署名人

田中 昌幸 

議事録署名人

藤原 正 